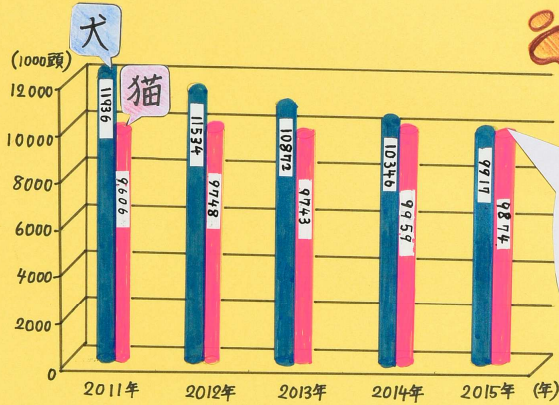
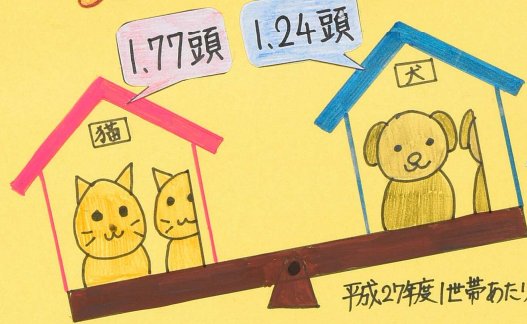


犬と猫は共に生きる大切なパートナー



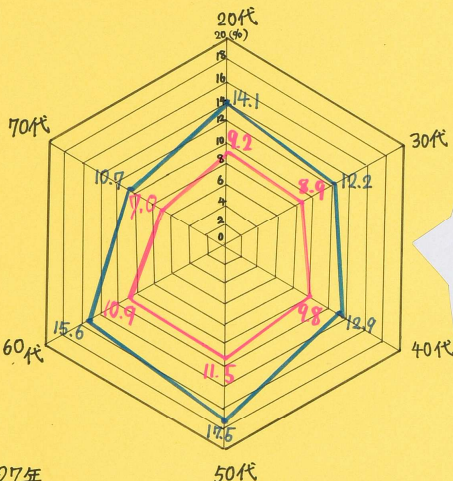
犬猫の飼育頭数 (2011~2015年)

犬の方が猫よりも飼育頭数が多いと思っていたけれど、最近は猫の方が人気でできていることがわかった。数年後には猫の飼育数が犬をうまわっているかもしれないと思った。



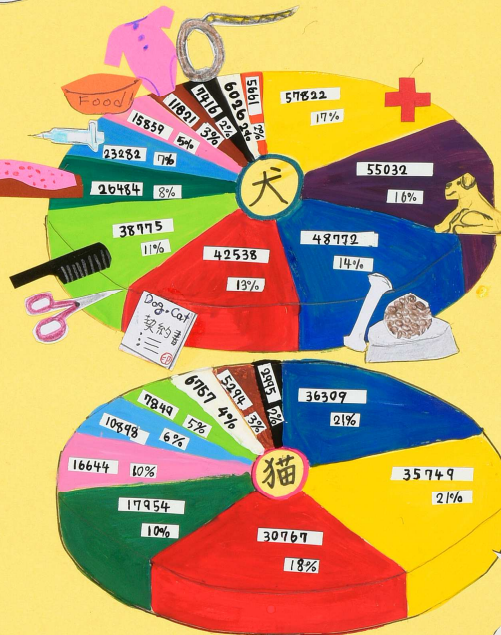
平成27年度1世帯あたりの全国平均飼育頭数

猫の飼育頭数の方が多いとは左の棒グラフと比較して考えられる。「一匹ではさみしい」と考え、複数の犬や猫をもつ飼い主のケースがよくこの図に表れている。



平成27年 犬猫の年代別飼育状況 (— 犬、— 猫)

年齢によって犬や猫に対する気持ちや、異なることが言われる。犬や猫はペットとしてだけでなく、心と体の支えにもなる信頼できる存在だと思ったり。しかし、高齢者は体力的に限界があり、世話をすることが困難なため、このグラフでは70代が最も少ないと言える。

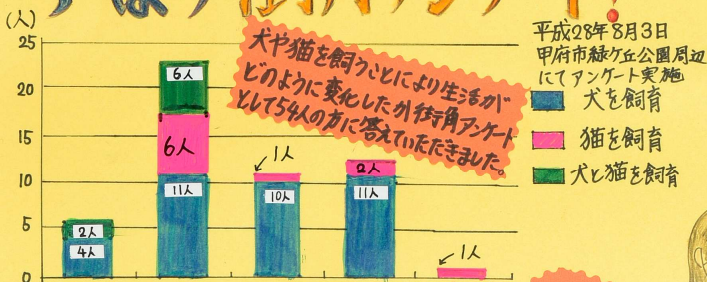


犬と猫の年間支出内訳 (2015年)

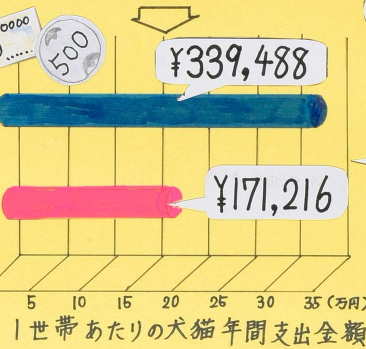
しつけ・トレーニング料は犬と猫に共通しておられる治療費やえさ代と違って犬にしかかからないことがわかった。

このグラフから考えておられる犬は月に28290円、猫は月に14268円で、予想以上に金額が高いことにしても驚いた。

すばり街角アンケート!



犬や猫は家族の一員として家庭を明るくしているのね!!



犬も猫も互いに「話し相手になり癒しになった」がだんしつに多いことがアンケートで明らかになった。健康のためだけでなく至福でリラックスできる時間をつくることも大きな効果だと思ふ。今回のアンケートでは年齢や費用、飼い主の生の声といった多様な資料と照らし合わせることで、私達と一緒に過ごす犬と猫の飼育必要性がよく理解できた。

